

第 2 回池田町行財政改革推進委員会次第

と き：令和 3 年 6 月 24 日（木）午後 1:30～4:30（予定）

ところ：池田町役場 2 階大会議室

司会：企画政策課長

1 開会（副会長）

2 会長あいさつ

3 第 1 回部会報告（村端部会長）

4 協議事項（司会：会長）

(1) 財政状況分析（村端部会長、財政係長）

質疑応答

(2) 今後のスケジュールについて（町づくり推進係長）

① 全体

② 【諮問事項 1】組織・機構の改善に関すること

・ 7/29 第 3 回委員会…町からの説明・協議

（8/中旬 総務部会…諮問事項 1 の答申方針について

・ 8/25 第 4 回委員会…協議

（9/中旬 総務部会…諮問事項 1 の答申案作成）

・ 9/30 第 5 回委員会…協議（諮問事項 1 の答申決定）＋諮問事項 2 について

（10/中旬 総務部会…答申書仕上げ）

・ 10/28 第 6 回委員会…冒頭にて諮問事項 1 の答申

(3) 第3回委員会について（町づくり推進係長）

- ① 日時 7月29日（木）午後1:30～4:30
- ② 場所 役場大会議室
- ③ 主な協議事項 【諮問事項1】組織・機構の改善に関すること
- ④ 必要資料

【提出済み】 池田町職員定数条例

池田町職員名簿（R3.4.1）

池田町課設置条例

池田町組織規則

池田町教育委員会事務局組織規則

人口ビジョン

組織図

池田町特別職の職員等の給与に関する条例

池田町執行機関の附属機関設置等に関する条例

池田町議会議員定数条例

池田町農業委員会に関する規則

【提出予定】 職員構成ピラミッド

職員数の推移（正規・会計年度）

組織図（過去からの推移）

【その他町に求める資料】

5 その他

6 閉会（副会長）

※赤字部分は委員会当日口頭にて訂正した箇所です。

第 1 回部会報告

日 時 6 月 14 日（月）午前 9 時～12 時 30 分

会 場 池田町役場 2 階大会議室

出席者（敬称略）

部会員：山沖義和、宮嶋將晴、村端浩

池田町：事務局（企画政策課）4 名 大澤孔、塩原長、丸山佳男、寺島靖城

オブザーバー：丸山史子、和澤忠志、瀧澤洋子、大野太郎（ZOOM 参加）

1. 第 1 回委員会での合意事項

① 部会の性格

委員会での意見を踏まえて意見を深め、次回で協議する事項を整理し、必要な提案事項をまとめる。

② 第 1 回部会の役割

池田町の財政の現状について共通理解を深めるために、何が問題なのかがわかる資料を準備する。その際に問題点も指摘する。

2. 第 1 回部会で話し合ったこと

部会長の選出は後回しにし、とりあえず山沖会長の司会ですすめた。

① 事務局から用意した資料

第 1 回委員会での補足として、第 1 回、第 2 回町民説明会で提出した町の資料を準備。簡単に説明。

ただ、これについては、ポイントを絞った基本資料とはならないことから、提示するにとどめる。

② 村端委員が事務局と打ち合わせた上で用意した案の説明を受け、内容を確認。協議の中で、ポイントを絞った分かりやすい資料が必要であるとの合意を得て、この資料を委員会で議論を深めるための基礎資料とすることを確認。なお、資料については、いくつかの修正（H19 と H28 との歳出 比較など）の意見があり、それらを加味して委員会に提出することとした。

④ 今後の検討事項として、町民に対する情報提供をホームページやニュースなどで行う必要性が宮嶋委員から指摘された。

以上の話し合いのあと、部会の名称、部会長をどのようにするのかについて話し合った。

① 部会の名称は「総務部会」とする。

② 総務部会はテーマによってメンバーが交代することがあるが、当面現在のメンバーで構成する。

③ 部会長に村端委員を選出。

④ 次回部会は 7 月 12 日（月）午前中とする。

以上

令和3年6月24日

池田町行財政改革推進委員会

第2回委員会 問題提起資料

総務部会

池田町の財政状況と問題点

<本文>

1. なぜ、池田町の財政逼迫がもたらされたか
 - ポイント1 経常経費の増大
 - ポイント2 投資的経費の増大
 - ポイント3 経常的経費・投資的経費のバランスの崩れ
 - ポイント4 財政調整基金の枯渇・基金全体の縮小
 - ポイント5 公債費・実質公債費比率の上昇
 - ポイント6 経常収支比率の上昇
 - ポイント7 公共施設やインフラの改修・更新費用
2. 池田町行財政改革の基本と課題

<資料>

1. 歳出の推移
2. 歳出の推移(グラフ)
3. 性質別歳出 内訳(令和元年度)
4. 甕町政(5年間)の事業一覧
5. 基金の推移(グラフ)
6. 公債費、実質公債費比率の推移
7. 経常収支比率、実質単年度収支の推移
8. 池田町の人口の推移

池田町の財政状況と問題点

令和3年6月24日
池田町行財政改革推進委員会

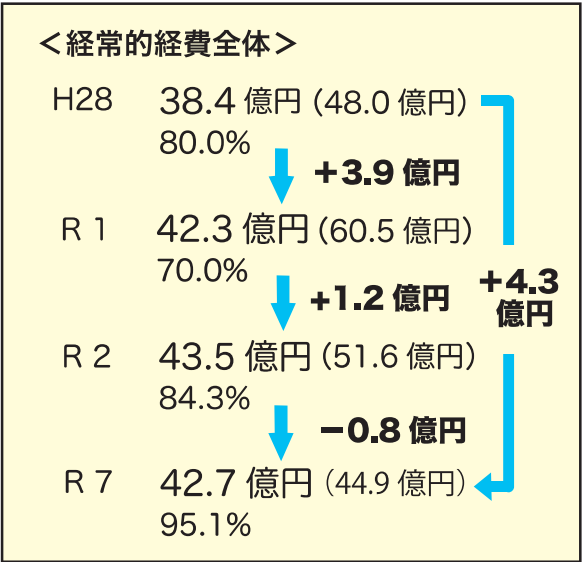
1. なぜ池田町の財政逼迫がもたらされたか

ポイント1 経常的経費の増大

- ① 経常的経費の増大の要因 (H28 → R2)
 - 人件費 +4 億円 (物件費の減少分を吸収)
 - 公債費 +1.2 億円 (義務的経費 +5.4 億円)
 - 補助費 +0.5 億円
 - 繰出金 +0.7 億円

- ② 過去の行革プランからの逸脱、軽視

<参照>・町の資料 (歳入・歳出)
・町の資料 (人件費・職員数)
・資料 1, 資料 2



<経常的経費の推移>

単位 億円

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
人件費	6.3	6.6	6.4	7.1	10.3	10.2	10.1	10.3	10.4	10.5
扶助費	4.5	4.7	4.5	4.5	4.7	4.5	4.6	4.6	4.7	4.7
公債費	4.9	5.2	5.3	5.8	6.1	5.9	9.9	7.9	7.3	6.5
物件費	8.8	8.9	8.9	9.4	7.0	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3
補助費	7.0	7.2	7.0	7.4	7.5	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6
繰出金	5.9	6.0	6.0	6.6	6.6	7.0	7.1	7.1	7.1	7.1
積立金	0.3	0.4	0.5	0.6	0.8	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4



ポイント
2

投資的経費の増大

- ＜参照＞・資料 1 歳出の推移
・資料 2 歳出の推移（グラフ）
・資料 4 甕町政下での事業一覧

H18 ～ H27 年度 10 年間の投資的経費累計
70 億 6400 万円（年平均 7 億円）
H28 ～ R2 年度 5 年間の投資的経費累計
63 億 7000 万円（年平均 12.7 億円）
（H28 ～ R1 の 4 年間では年平均 13.5 億円）

＜歳出＞

単位 百万円

	歳出総額	経常的経費	割合%	投資的経費	割合%
H25	4,880	3,824	78.4	1,056	21.6
H26	4,595	3,827	83.3	768	16.7
H27	4,752	3,949	83.1	803	16.9
H28	4,800	3,838	80.0	962	20.0
H29	5,242	3,968	75.7	1,274	24.3
H30	5,443	3,937	72.3	1,506	27.7
R1	6,054	4,232	69.9	1,822	30.1
R2	5,157	4,347	84.3	810	15.7
R3	4,479	4,147	92.6	332	7.4
R4	4,879	4,553	93.3	326	6.7
R5	4,701	4,385	93.3	316	6.7
R6	4,496	4,338	96.5	158	3.5
R7	4,487	4,267	94.8	220	5.2

「3 億円歳出削減プロジェクト」

- R3.2 説明会資料
- ※1 会染西部ほ場整備非農用地整備費、保育園施設整備費含まず
 - ※2 投資的経費 R4 以降は見込み＝各年度普通建設事業費＋2 千万円
 - ※3 R2 の決算暫定値では投資的経費 9.6 億円。H28 ～ R2 の投資的経費累計は 65 億 2 千万円になります。

現町政の財政運営は、どこに問題があったのか

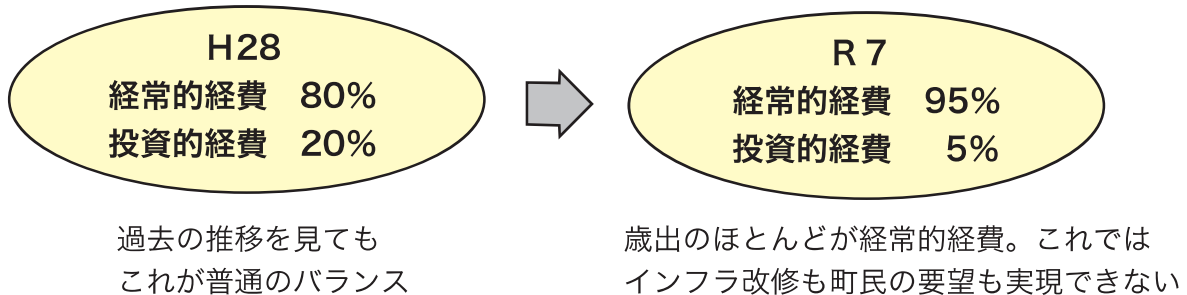
1. 経常的経費の増大だけではなく、投資的経費の増大にブレーキをかけられなかった。
2. 投資的事業のための地方債の発行によって、公債費の増大を招いた。
3. 財源不足に陥ったために、安易に財政調整基金に頼ってしまった。

その結果

1. 財政構造の極端なアンバランスを引き起こした。 ▶ ポイント 3
2. 基金の枯渇を招いた。 ▶ ポイント 4
3. 実質公債費比率、経常収支比率の上昇を不可避にした。 ▶ ポイント 5、6

ポイント
3

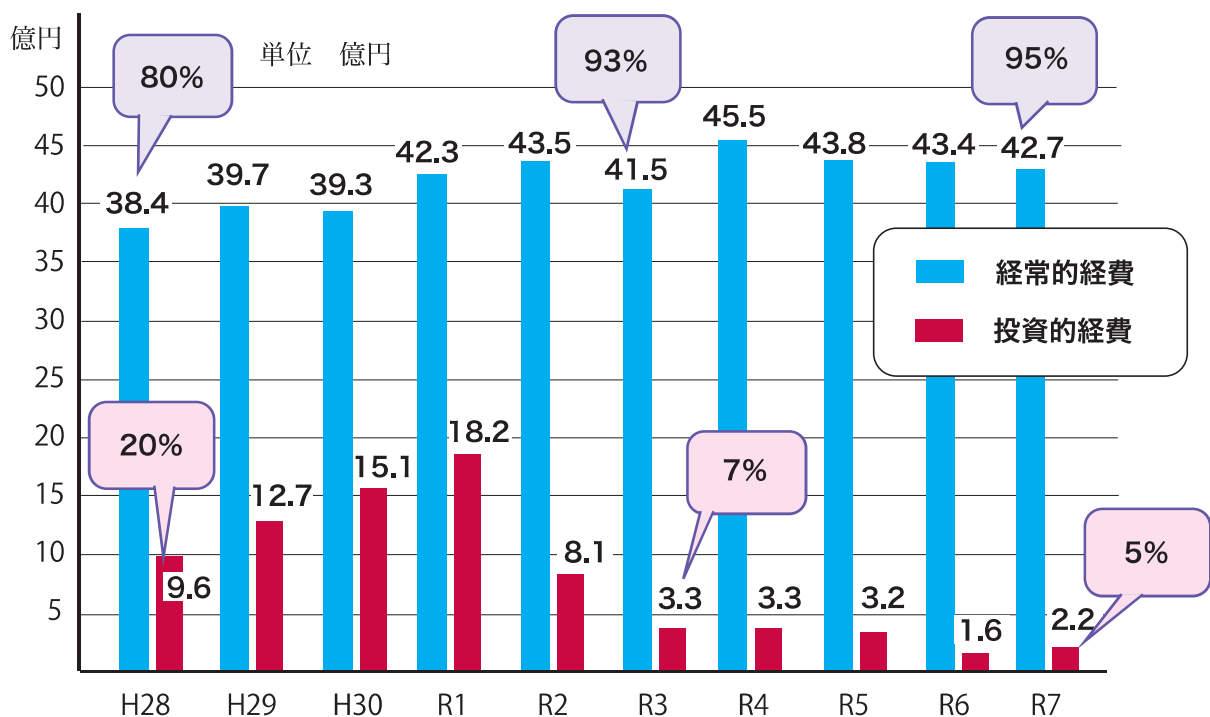
経常的経費・投資的経費のバランスの崩れ



<経常的経費と投資的経費の推移>

単位 億円

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
経常的経費	38.4	39.7	39.3	42.3	43.5	41.5	45.5	43.8	43.4	42.7
投資的経費	9.6	12.7	15.1	18.2	8.1	3.3	3.3	3.2	1.6	2.2
計	48.0	52.4	54.4	60.5	51.6	44.8	48.8	47.0	45.0	44.9



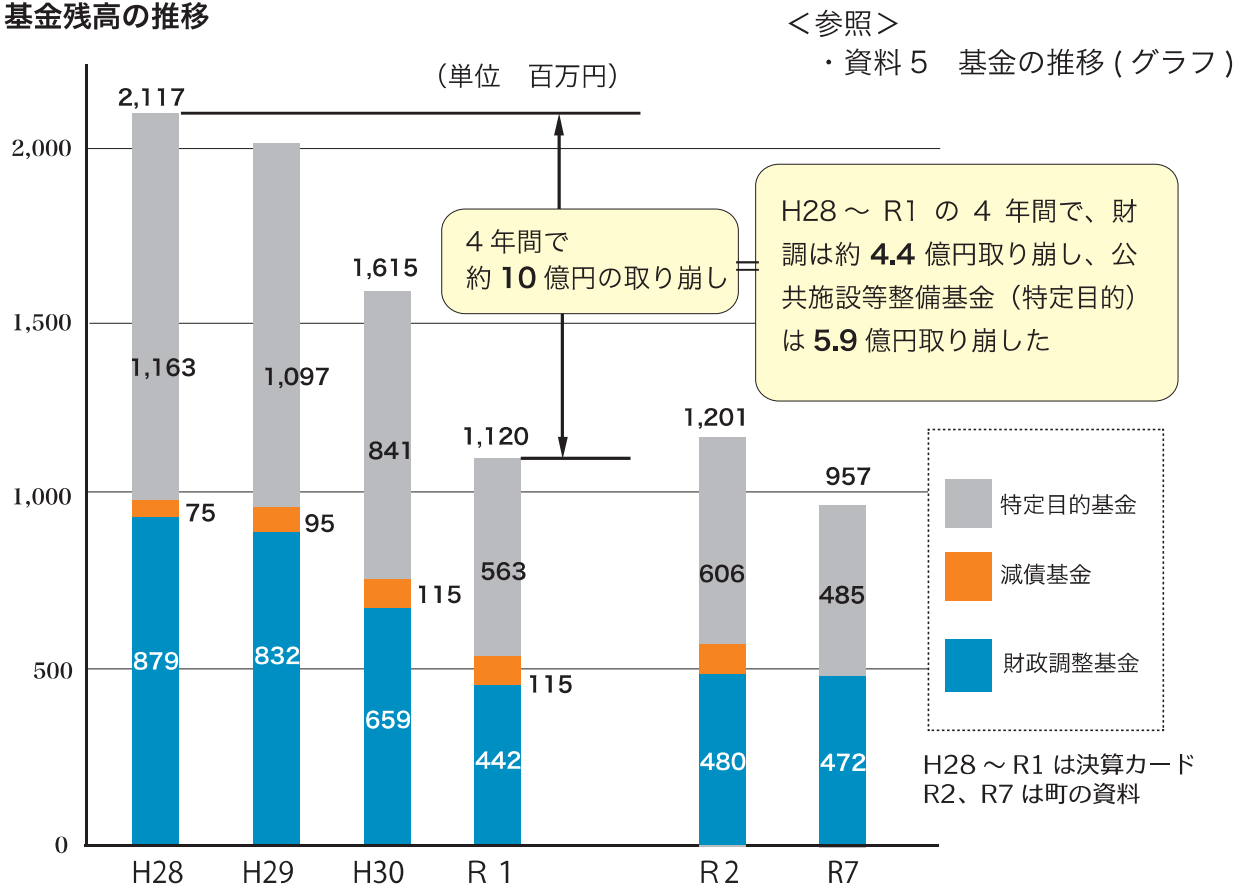
なぜバランスが大きく崩れたのか

1. 経常的経費と投資的経費のバランスを崩したのは、歳入規模を度外視して人件費・補助費などを増やし、さらに多くの投資的事業による起債で公債費を増大させ、経常的経費を肥大化させたこと。
2. 「池田町まちづくり推進プラン」(H19～H28)で「経常的な経費の削減にとりくむ」「新規の起債を最小限にし、公債費の減少を目指す」とした行革の方針に反して、真逆の方向にすすんだこと。(「池田町まちづくり推進プラン」参照)

ポイント
4

財政調整基金の枯渇、基金全体の縮小

1. 基金残高の推移



2. 当初予算における投資的経費の事業費と基金からの繰入（単位 百万円）

年度	事業費	投資的経費財源				①－②
		特定財源		一般財源		
			うち公共	①	うち財調②	
H26	281	175	4	106	31	75
H27	660	568	130	92	27	65
H28	328	226	13	102	24	78
H29	937	829	200	108	156	-48
H30	1,536	1,304	303	232	244	-12
R1	889	699	10	190	336	-146
R2	728	554	24	174	273	-99

各年度の池田町財政
計画資料より

※ H28 から財政調整基金繰入金（表の②）が投資的経費の一般財源（表の①）を上回り、経常経費に充当しないと当初予算が組めない状態が続いた

危機は脱したのか（その1）

1. R2の財調取り崩しは避けられたものの、経常経費の増大によって投資的経費とのバランスが大きく崩れたため、構造的な歳入不足が今後も起こりうる。そのため、財調取り崩しの誘惑が強まり危機の深刻化が懸念される。
2. 基金の積み増しをする余裕が全くなっている。減債基金がゼロになるため、公債費削減の取り組みに支障。

ポイント
5

公債費・実質公債費比率の上昇

＜参照＞・町の資料「未償還元金の推移」
「実質公債費比率の推移」
・資料 6 公債費・実質公債費比率

＜公債費と実質公債費比率＞

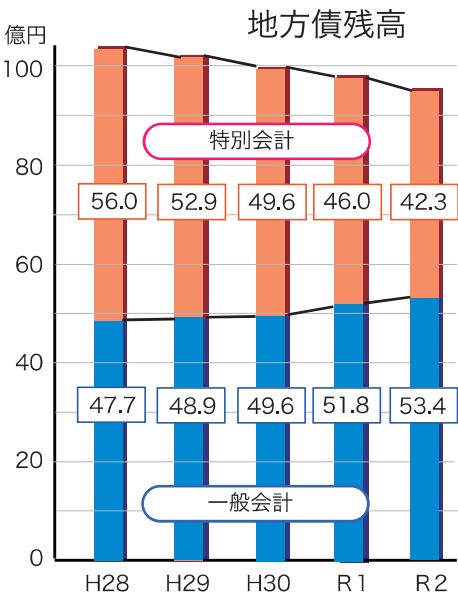
区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
公債費	4.9	5.2	5.3	5.8	6.1	5.9	9.9	7.9	7.3	6.5
公債費比率	6.6%	8.8%	10.4%	11.8%	12.9%	14.6%	14.0%	14.6%	15.2%	16.4%



＜地方債残高＞

区分	H28	H29	H30	R1	R2
一般会計	47.7	48.9	49.6	51.8	53.4
特別会計	56.0	52.9	49.6	46.0	42.3
計	103.7	101.8	99.2	97.8	95.7

上の表はいずれも町の財政資料より



危機は脱したのか（その2）

- 1. 投資的事業を増大させたために、公債費が経常的経費の上昇をもたらし、将来にわたって一般会計を圧迫する大きな要因をつくった。
- 2. 町の広報では、「池田町の財政は健全」としている。しかし、現在の町のシミュレーションでは、今後の投資的事業（公共施設・インフラ整備など）をほとんど考慮していない。
- 3. 従って、実質公債費比率が令和 7 年度の 16.4% で抑えられる可能性に疑問が残る。

ポイント
6

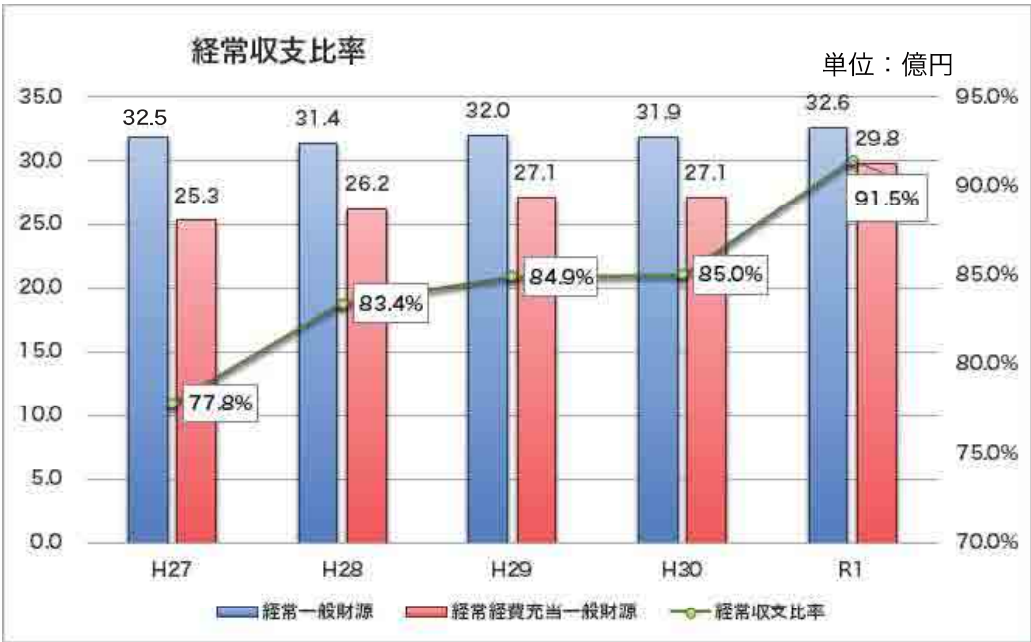
経常収支比率の上昇

< 参照 >
・ 資料 7 経常収支比率

池田町の経常収支比率の推移

単位：億円

区分	H27	H28	H29	H30	R1
経常一般財源	32.5	31.4	32.0	31.9	32.6
経常経費充当一般財源	25.3	26.2	27.1	27.1	29.8
経常収支比率	77.8%	83.4%	84.9%	85.0%	91.5%



総務省 決算カードより

経常収支比率＝
$$\frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源}} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費などの経常的な経費}}{\text{地方税、地方交付税、地方譲与税などの経常的な収入}}$$

経常収支比率は地方公共団体の財政構造の弾力性を表す数値で、この比率はおおむね 70%から 80%の間であることが理想とされています。

危機は脱したのか（その 3）

1. 経常収支比率は「毎年決まって入る財源」のうちで「必ず出て行くお金」の割合のこと。これが 90% を超えるということは、自由に使えるお金がほとんどないということの意味する。投資的経費の割合が5%程度になる令和7年度ではさらに悪化することが懸念される。
2. 人口減少によって、地方税、地方交付税も減少する可能性が高い。一方で、高齢者対策のための扶助費の増加や人件費、公債費の高止まりによって、さらに経常収支比率が高まる恐れがある。

ポイント
7

公共施設やインフラの改修・更新費用

H29「管理計画」 公共施設・インフラ 40年間
合計 704.8 億円（年平均 17.6 億円）

R2「個別計画」 公共施設のみ（「中長期計画」）
合計 184 億円（年平均 4.6 億円）

- < 参照 >
- ① 池田町公共施設等管理計画
 - ② 池田町公共施設個別施設計画

R2 個別計画での将来予測

- 「従来型」（40 年建替）では、256（年 6.4）億円
- 施設類型別「長寿命化型」では 196（年 4.9）億円

◆図表 4-12 更新費用の推計（総務省提供ソフトによる試算）

種別	過去 5 年実績 (単年平均 A)	更新費用の推計		倍率 B / A
		40 年累計	(単年平均 B)	
公 共 建 築 物	6.16 億円	289.7 億円	7.2 億円	1.2
インフラ施設	1.36 億円	415.1 億円	10.4 億円	7.6
	道 路	1.14 億円	3.9 億円	3.4
	橋 り ょ う	0.00 億円	0.2 億円	—
	上 水 道	0.18 億円	2.9 億円	16.1
	下 水 道	0.04 億円	3.4 億円	85.0
合 計	7.52 億円	704.8 億円	17.6 億円	2.3

◆図表 4-20 人口減少を考慮した将来負担

		既往実績		推計		倍率 B / A
人 口		平成 27 年 9,926 人		平成 42 年 9,424 人		
種 別		単年平均		単年平均		
		過去 5 年実績	1 人あたり A	今後 40 年	1 人あたり B	
投資的経費	公共建築物	6.16 億円	62,059 円	7.2 億円	76,401 円	1.2
	道 路	1.14 億円	11,485 円	3.9 億円	41,384 円	3.6
	橋 り ょ う	0.00 億円	0 円	0.2 億円	2,122 円	—
	上 水 道	0.18 億円	1,813 円	2.9 億円	30,772 円	17.0
	下 水 道	0.04 億円	403 円	3.4 億円	36,078 円	89.5
合 計		7.52 億円	75,761 円	17.6 億円	186,757 円	2.5

池田町公共施設等総合管理計画 H29 年 3 月

これらの計画はシミュレーションに入っているのか

1. 「管理計画」では、「公共施設等のマネジメントに必要な情報を全庁的に共有し、適切に維持・更新等の管理を実施し推進」と記載しているのだが。
2. 「個別計画」では今後の維持・更新コストを試算しているが、第 6 次総合計画でも町の財政シミュレーションでも十分考慮されていない。

2 池田町行財政改革の基本と課題

基本

- ① 財政危機を克服するため、今後数年間は非常時の財政運営を行うこと
- ② 地方自治を守り、町民のいのち・暮らしを守る部門を維持し充実させること

課題

1. 経常的経費の削減

- ① 人件費の抑制
正規職員数と給与、会計年度任用職員の数、役場機構・事務事業などの見直し
- ② 公債費の増大の抑制
新規事業、公的施設・インフラ改修計画の再精査と計画的対応
- ③ 物件費、補助費などの圧縮、事務事業の見直し
- ④ 公共施設のあり方と運営の検証、見直し
- ⑤ 繰出金（特別会計）の検討

2. 経常的経費と投資的経費の適切なバランスの回復

- ① 財政規模の安定化、町の歳入規模に合った財政の確立
- ② 投資的事業の計画的推進、総合計画・個別計画での位置づけ直し
- ③ 人口減少に耐えうる町づくりと財政基盤の準備
- ④ 財政目標の年度および目標値の設定

3. 基金運営の原則の確立と計画的積み立て

- ① 基金運営のあり方の検討と原則の確立
- ② 財調の位置づけと目標額、特定目的基金の目標額と達成年度設定
- ③ 減債基金の計画的積み立て

4. 町民主役・住民自治の町づくりとそれを支える行政

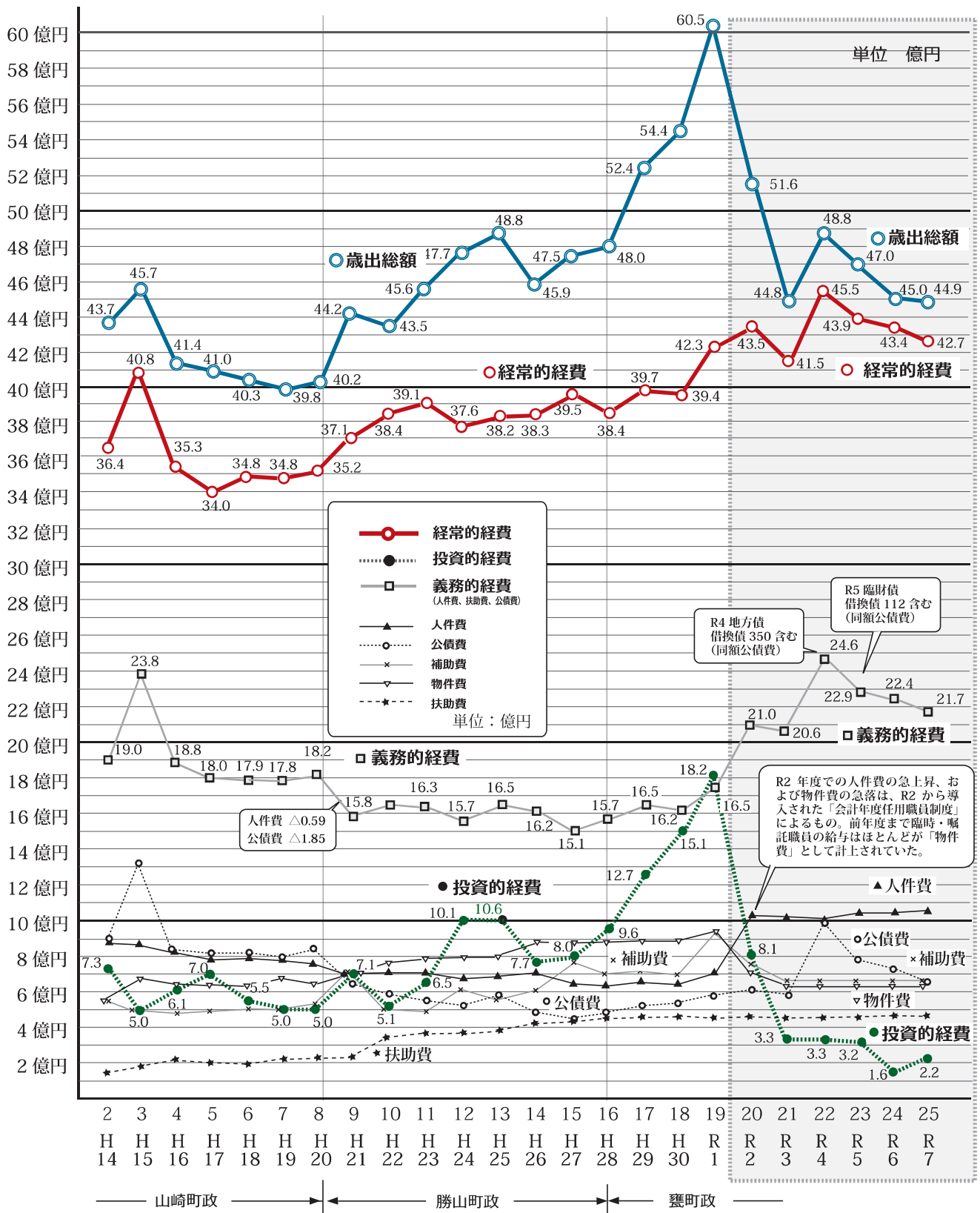
- ① 行政と議会・住民との協働、地域コミュニティの維持・発展
- ② 情報公開の徹底、開かれた行政の実現

<資料 1> 歳出の推移

区 分		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
○経常的経費		34.0	34.8	34.8	35.2	37.1	38.4	39.1	37.6	38.2	38.2	39.5	38.4	39.7	39.3	42.3	43.5	41.5	45.5	43.8	43.4	42.7
義務的経費	人件費	7.8	7.8	7.7	7.6	7.0	7.2	7.1	6.7	6.8	7.1	6.4	6.3	6.6	6.4	7.1	10.3	10.2	10.1	10.3	10.4	10.5
	扶助費	2.0	2.0	2.2	2.2	2.3	3.4	3.7	3.8	3.9	4.2	4.3	4.5	4.7	4.5	4.5	4.7	4.5	4.6	4.6	4.7	4.7
	公債費	8.2	8.2	8.0	8.4	6.5	5.9	5.5	5.2	5.8	4.9	4.4	4.9	5.2	5.3	5.8	6.1	5.9	9.9	7.9	7.3	6.5
	計	18.0	17.9	17.8	18.2	15.8	16.5	16.3	15.7	16.5	16.2	15.1	15.7	16.5	16.2	17.4	21.1	20.6	24.6	22.8	22.4	21.7
	割合%	52.9	51.4	51.1	51.7	42.6	43.0	41.7	41.8	43.2	42.4	38.0	41.0	41.0	41.0	40.0	48.0	49.6	54.0	52.0	52.0	51.0
その他	物件費	6.3	6.3	6.7	6.4	7.0	7.6	7.9	7.9	8.1	8.8	8.8	8.8	8.9	8.9	9.4	7.0	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3
	補助費	4.9	5.1	5.0	5.3	7.1	5.0	4.9	6.1	5.6	6.1	7.6	7.0	7.2	7.0	7.4	7.5	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6
	繰出金	4.3	4.9	4.6	5.0	5.5	5.4	5.5	5.5	5.6	5.8	5.9	5.9	6.0	6.0	6.6	6.6	7.0	7.1	7.1	7.1	7.1
	積立金	0.3	0.2	0.4		1.4	3.4	4.1	1.7	1.9	0.8	1.5	0.3	0.4	0.5	0.6	0.8	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	その他	0.2	0.4	0.3	0.3	0.3	0.5	0.4	0.7	0.5	0.5	0.0	0.7	0.7	0.7	0.9	0.5	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6
	計	16.0	16.9	17.0	17.0	21.3	21.9	22.8	21.9	21.7	22.0	23.8	22.7	23.2	23.1	24.9	22.4	20.9	20.9	21.0	21.0	21.0
○投資的経費		7.0	5.5	5.0	5.0	7.1	5.1	6.5	10.1	10.6	7.7	8.0	9.6	12.7	15.1	18.2	8.1	3.3	3.3	3.2	1.6	2.2
歳出合計		41.0	40.3	39.8	40.2	44.2	43.5	45.6	47.7	48.8	45.9	47.5	48.0	52.4	54.4	60.5	51.6	44.8	48.8	47.0	45.0	44.9

- (注) 1. 上の R2 以降の数値は、令和 3 年 2 月の町の財政シミュレーションによるもの。
R2 については、決算の暫定額が 6 月中旬に示されましたが、以前の数値のまま記載しています。
2. 総務省の決算カードでは、R1 の投資的経費は 16.5 億円、補助費が 9.1 億円となっています。
これは、穂高広域施設組合の負担金の扱いの違い（国では補助費に入れている）ことによるものです。

＜資料 2＞ 歳出の推移 グラフ



枠内は今後の予測。町の委員会提出財政資料より

<資料 3> 性質別歳出 内訳（令和元年度）

単位：百万円

区分	主な支出	決算額	合計
人件費	正規職員・特別職給与等	466	714
	共済組合負担金等	112	
	退職手当組合負担金等	71	
	議員等報酬	40	
	委員等報酬	27	
扶助費	介護給付訓練等給付費	224	448
	児童手当	121	
	福祉医療給付費	58	
	養護老人ホーム等入所措置費	21	
	就学援助費	6	
	その他	18	
公債費	元利償還金	581	581
物件費	委託料（バス運転業務委託料46,電算委託料31,ふるさと納税業務委託料29）	409	936
	臨時賃金	234	
	需用費（電気料42,消耗品費42,灯油・ガス代等18,上下水道料14）	167	
	役務費（郵便料等8,電話料6,水質検査料2,例規システム利用料1）	31	
	備品購入費	24	
	旅費	10	
	交際費	1	
	その他	60	
補助費等	北アルプス広域連合負担金（常備消防費158,経常費17）	175	740
	一部事務組合負担金（池田松川[給食・葬祭]83,穂高広域[ごみ]61）	144	
	多面的機能支払交付金	62	
	移住定住補助金	35	
	町社会福祉協議会補助金	27	
	プレミアム付商品券事業	22	
	中山間地域直接支払補助金	14	
	その他	261	
繰出金	下水道事業特別会計繰出金	250	658
	介護保険広域連合負担金	169	
	後期高齢者医療療養給付費負担金	123	
	国民健康保険特別会計繰出金	63	
	その他	53	
維持補修費	一般修繕・施設修繕	51	51
積立金	池田町でてるてる坊主のふるさと応援基金等積立金等	64	64
投資・出資金・貸付金	勤労者生活資金等預託金・小企業振興資金預託金	40	40
普通建設事業費	交流センター建設費等	1,773	1,773
災害復旧事業費	公共土木施設災害復旧事業（町道300号線）等	49	49
歳出合計			6,054

池田町企画政策課提供

＜資料 4＞ 甕町政（5 年間）の主な事業一覧

継続事業計 34.6 億円（社総交 19.7 億円） うち一般財源 4.0 億円
新規事業計 18.1 億円 うち一般財源 5.6 億円

第 1 回説明会資料（令和 2 年 11 月 26,27 日）

継続事業			単位 万円			
事業名	任期中合計	特定財源	特定財源内訳			一般財源
	H28-R2		国・県	地方債	その他	
社会資本総合整備事業	196,575	176,235	71,295	54,690	50,250	20,340
農地耕作条件改善事業	69,915	57,824	44,359	13,430	35	12,091
会染西部圃場整備	60,430	54,110	46,810	4,800	2,500	6,320
ハーブ園改修	2,682	2,376	2,376			306
学校関係大改修事業	16,342	15,069	5,904	9,165		1,273
計	345,944	305,614	170,744	82,085	52,785	40,330

新規事業（ハード）			単位 万円			
事業名	決算額	特定財源	特定財源内訳			一般財源
	H28-R2		国・県	地方債	その他	
穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設工事	51,436	41,040		41,040		10,396
池小・会染小・高瀬中エアコン設置	23,969	17,329	5,829	11,500		6,640
保育園エアコン設置	1,056	1,000			1,000	56
総合体育館耐震改修	43,333	42,670		42,670		663
総合体育館駐車場造成	5,143	3,500			3,500	1,643
庁舎外壁改修	1,147					1,147
役場庁舎エアコン設置	2,111	1,980			1,980	131
専門学校（日本アルプス国際学院）整備事業	5,491					5,491
シェアベースにぎわい建設	9,945	9,605	4,664	4,340	601	340
計	143,631	117,124	10,493	99,550	7,081	26,507

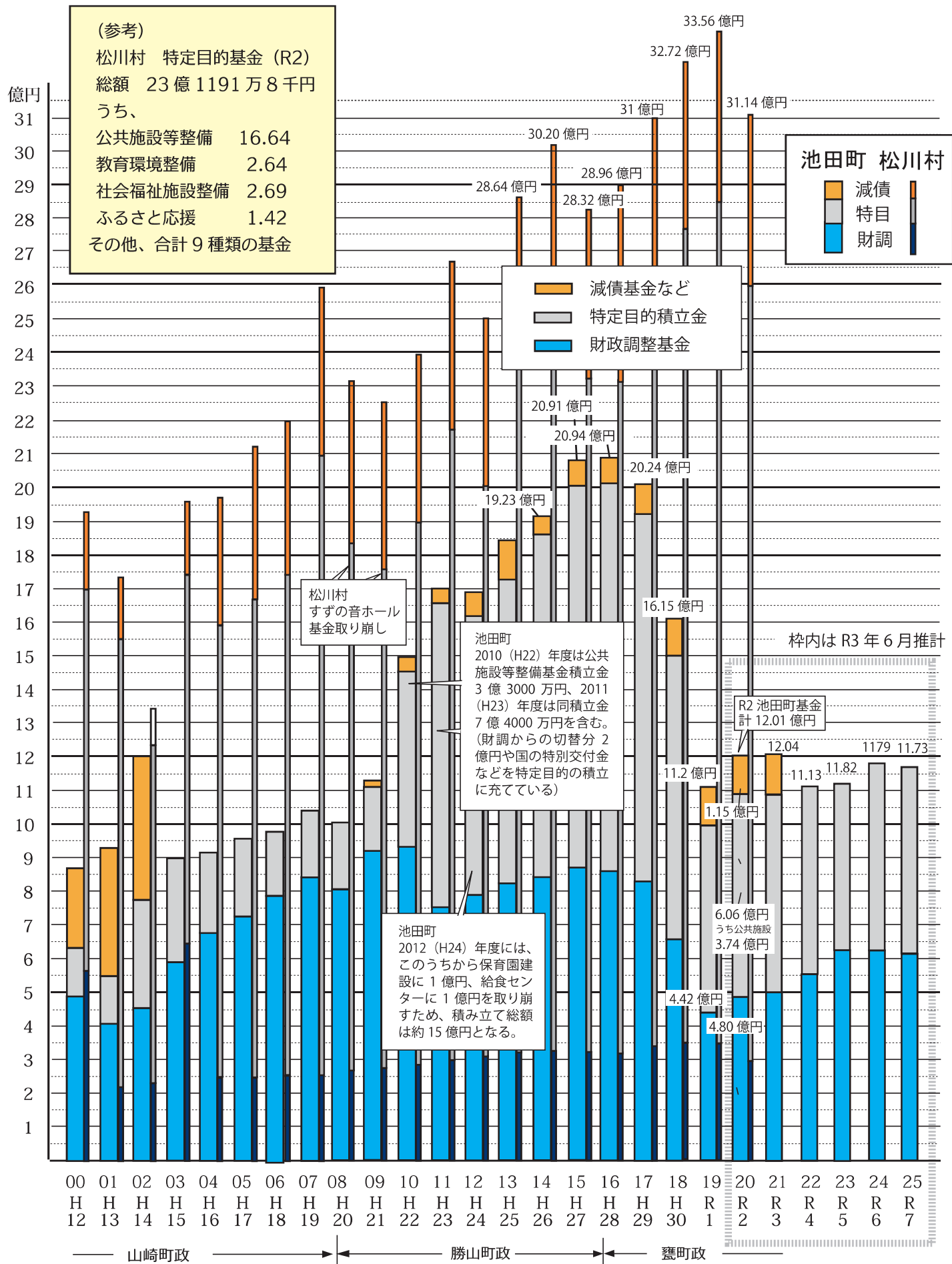
新規事業（補助）			単位 万円			
事業名	決算額	特定財源				一般財源
	H28-R2		国・県	地方債	その他	
小中学校児童生徒給食費補助	4,636					4,636
保育料副食費の減免	1,436					1,436
入学祝金	1,697					1,697
移住定住補助金	10,399					10,399
住宅リフォーム補助金（復活）	1,609					1,609
在宅介護給付金	1,741					1,741
空家解体事業補助金	100					100
農村活性化支援事業（ワイナリー）	6,045	4,447	4,447			1,598
計	27,663	4,447	4,447			23,216

新規事業（その他）						
事業名	決算額	特定財源	特定財源内訳			一般財源
	H28-R2		国・県	地方債	その他	
上原商店跡地土壌調査	1,262					1,262
地方創生交付金事業（特産品輸出・外国人誘致）	5,569	2,783	2,783			2,786
中信交通災害共済町民分掛金全額負担	752	90			90	662
ハーバルヘルスツーリズム事業	2,636	1,568	1,568			1,068
計	10,219	4,441	4,351		90	5,778

総計						
	決算額	特定財源	特定財源内訳			一般財源
	H28-R2		国・県	地方債	その他	
新規事業費計 事業名	181,513	126,012	19,291	99,550	7,171	55,501
継続事業＋新規事業 総合計	527,457	431,626	190,035	181,635	59,956	95,831

注：上記の新規事業（ハード）には、交流センター横の商業エリア土地購入費 2,500 万円、まちなか
駐車場 整備費 4,600 万円などが入っていません。

<資料 5> 基金の推移 グラフ (参考：松川村)



＜資料6＞ 公債費、実質公債費比率の推移

1. 地方債（未償還元金）残高の推移

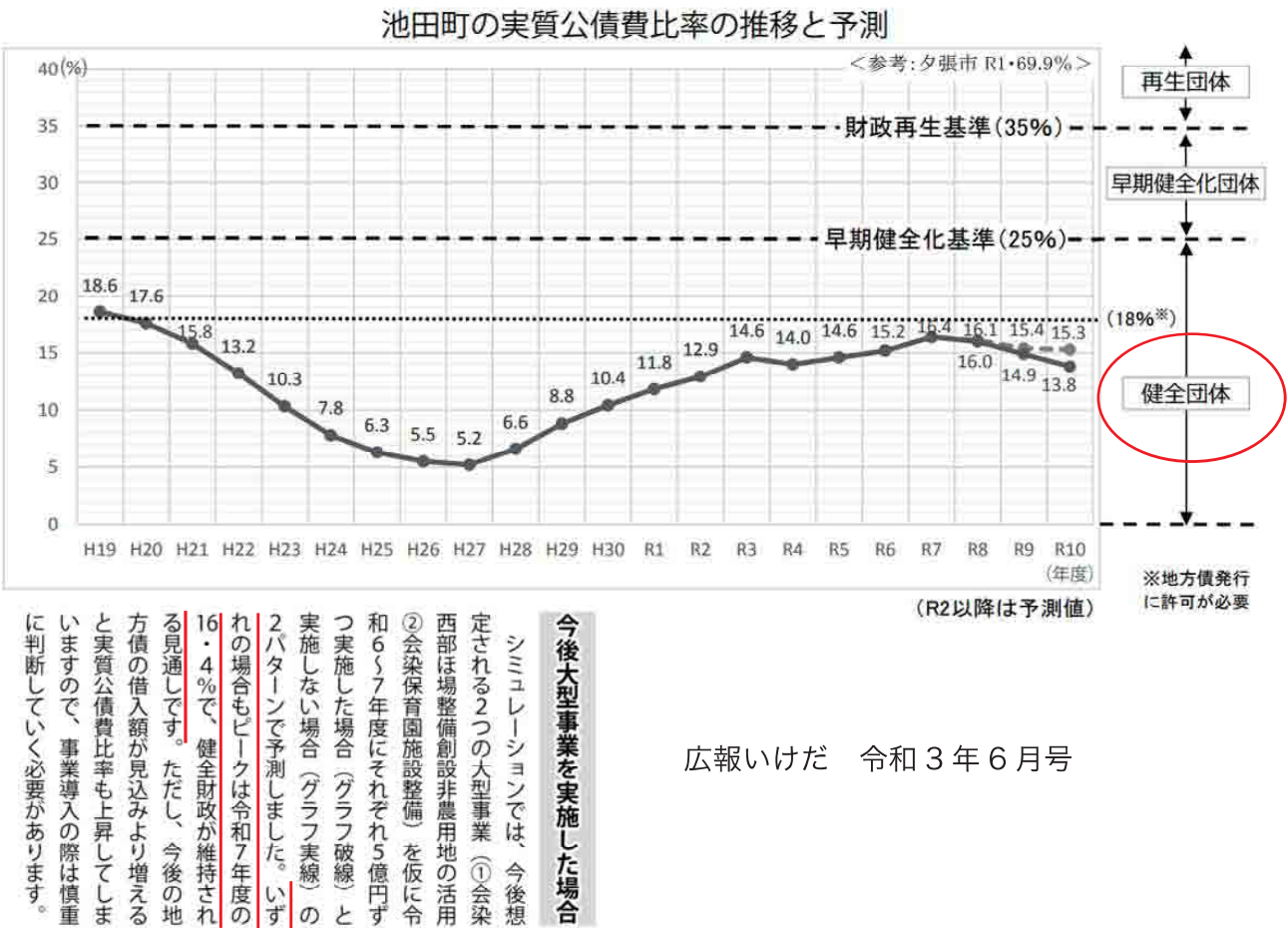
単位 億円

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
普通会計	47.7	48.9	49.6	51.8	53.4	50.7	47.6	44.1	40.0	36.8
特別会計	56.0	52.9	49.6	46.0	42.3	39.2	36.9	34.0	30.4	27.5
合 計	103.7	101.8	99.2	97.8	95.7	89.8	84.5	78.0	70.5	64.2

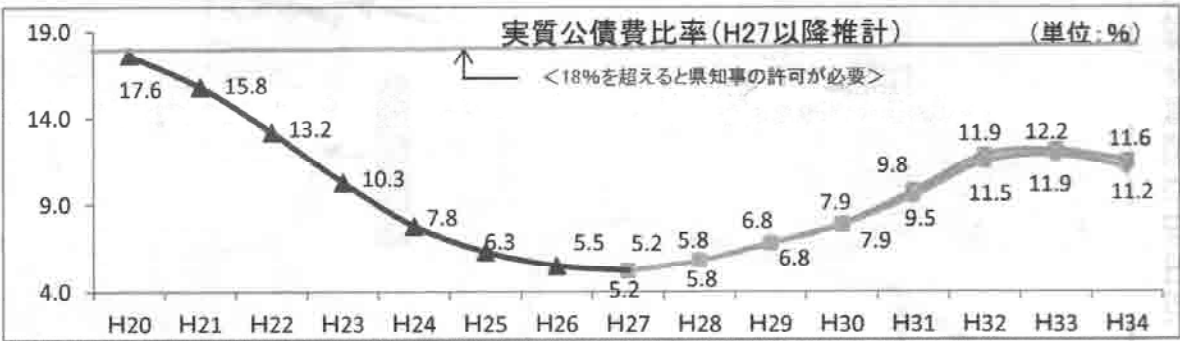
＜参照＞

町の「未償還元金の推移」「実質公債費比率の推移」

2. 実質公債費比率の推移



3. 社総交計画時の実質公債費比率 シミュレーション（H28.7）



<資料 7> 経常収支比率、実質単年度収支の推移

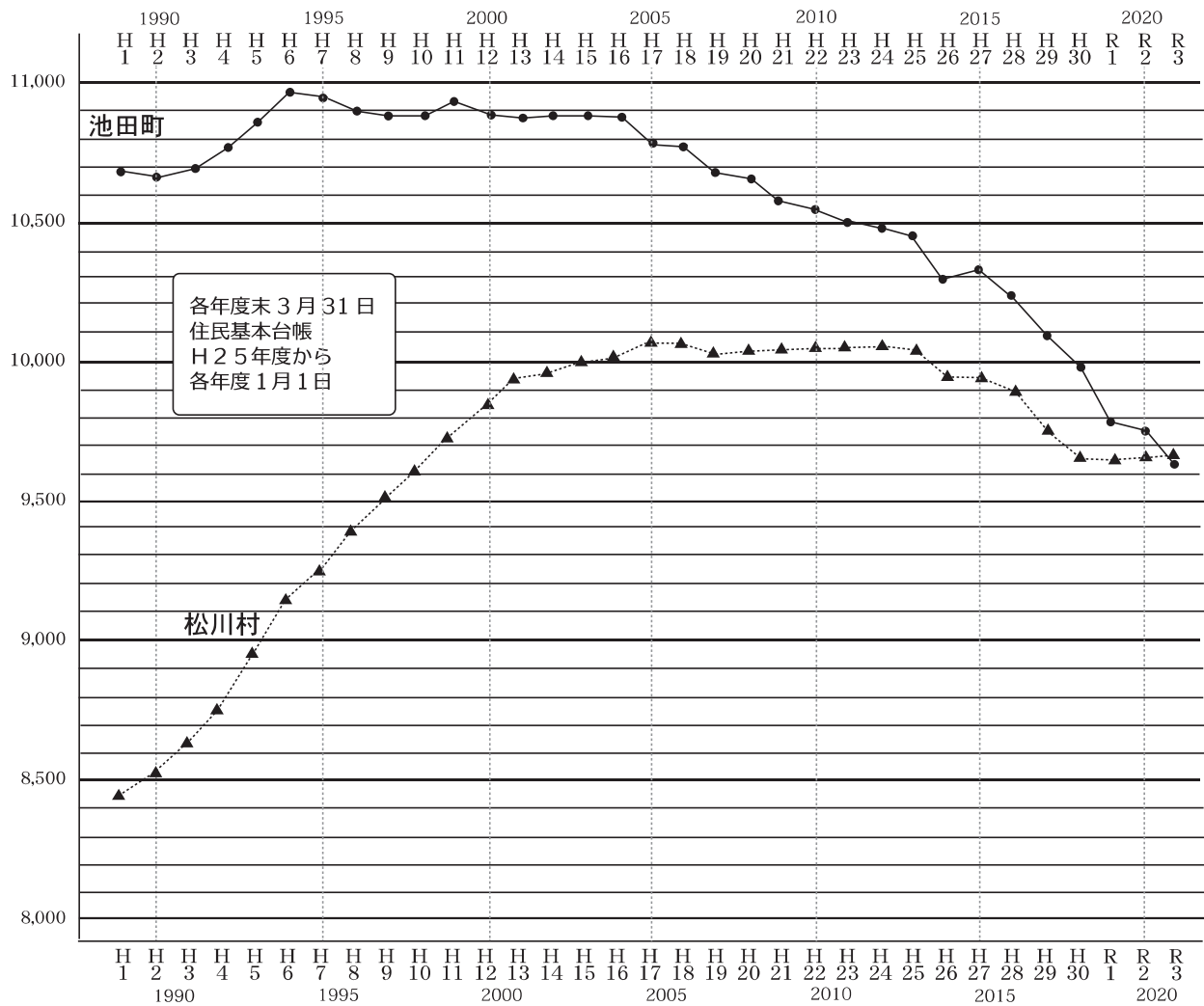
年度	経常一般財源 (歳入) 億円		充当一般財源 (歳出) 億円	経常経費充当 一般財源 億円	経常収支比率 %		実質単年度 収支 億円
	臨財債含	臨財債抜			臨財債含	臨財債抜	
H10	32.6	32.6	36.2	25.7	77.6 %	79.1%	△ 0.1
H11	33.5	33.5	36.3	26.2	77.8	78.2	△ 0.3
H12	33.7	33.7	39.7	26.0	76.7	77.1	△ 1.6
H13	34.0	33.0	37.3	26.0	76.5	78.7	△ 1.1
H14	32.9	31.1	34.6	26.2	79.6	84.2	0.7
H15	33.0	29.3	38.7	25.3	76.8	86.5	6.0
H16	31.9	29.4	33.1	25.6	80.3	87.3	0.5
H17	31.6	29.5	32.5	25.8	81.7	87.3	0.3
H18	31.7	29.9	33.0	26.3	82.9	87.9	△ 0.2
H19	31.2	29.6	32.7	27.8	89.0	93.8	0.3
H20	31.0	29.5	33.2	27.7	89.5	94.0	0.2
H21	30.9	28.6	34.8	27.3	88.3	95.3	0.9
H22	32.1	29.2	34.5	25.6	79.9	87.8	0.0
H23	31.8	29.6	35.7	24.5	76.9	82.7	△ 1.9
H24	31.4	29.3	32.7	23.7	75.4	80.8	0.1
H25	31.6	29.6	34.0	25.4	80.5	86.0	0.9
H26	31.4	29.4	33.1	26.0	82.7	88.5	0.1
H27	32.5	30.7	34.2	25.3	77.8	82.4	0.5
H28	31.4	30.0	33.5	26.2	83.4	87.2	△ 0.4
H20	32.0	30.5	35.0	27.1	84.9	89.0	0.2
H30	31.9	30.5	34.7	27.1	85.0	89.0	△ 2.2
R 1	32.6	31.4	37.2	29.8	91.5	94.9	△ 2.4

↑
臨財債は H13 より導入された
H13 から H18 まで減税（減収）補填債含む

総務省 決算カード

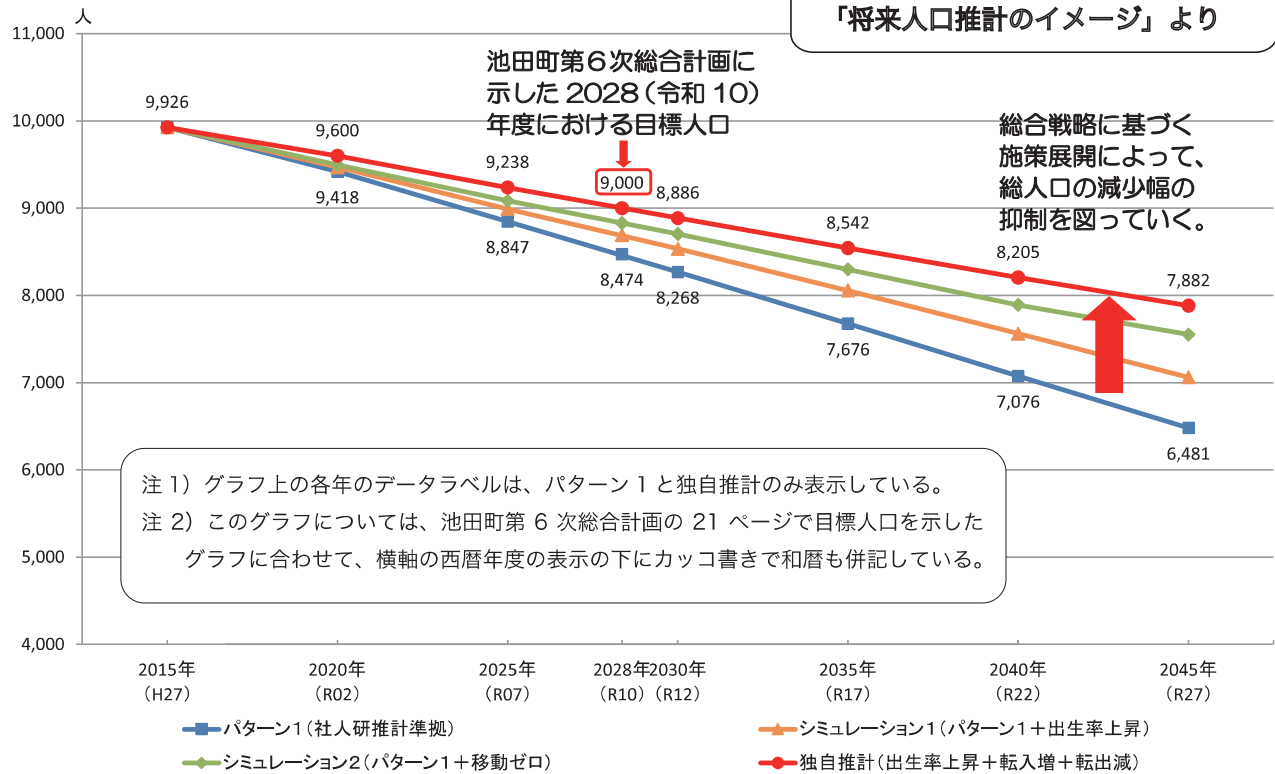
<資料 8> 池田町の人口の推移

総務省 決算カード



池田町の将来人口シミュレーション

池田町人口ビジョン 48 ページ
「将来人口推計のイメージ」より



本文 4 ページの補足資料（池田町）

ポイント4 財政調整基金の枯渇、基金全体の縮小2. **決算**における投資的経費の事業費と基金からの繰入

（単位：百万円）

年度	事業費	投資的経費財源			
		特定財源	うち公共	一般財源	うち財調
H26	768	474	10	294	0
H27	803	432	0	370	0
H28	962	629	0	333	18
H29	1,274	868	75	406	49
H30	1,506	1,082	242	423	210
R1	1,649	1,246	280	403	249
R2 ^{※1}	623	436	34	187	0

地方財政状況調査

※1 R2は暫定数値

※数値は四捨五入しているため、合計値が一致しない箇所があります

※穂高広域施設組合の新ごみ処理施設建設負担金（R1=172, R2=341）は、地方財政状況調査では「補助費等」に計上しているため、上記には含まれていません

資料 9 ページの補足資料（池田町）

<資料 1> 歳出の推移

(単位：億円)

区 分		H19 ①	H28 ②	差引 ②-①	主な増減理由	H28 ②	R2※1 ③	差引 ③-②	主な増減理由
○経常的経費		34.8	38.4	3.6		38.4	55.3	16.9	
義 務 的 経 費	人件費	7.7	6.3	-1.4	職員数(正職) 98人(H20.3.31時点/平均年齢43歳2月)→91人(H29.3.31時点/平均年齢41歳4月)	6.3	9.7	3.4	・会計年度任用職員 0.0→2.5(+2.5) ※R2制度改正により臨時職員(物件費)から区分移動 ・職員数(年度末時点) ▷正職 H28=91人→R2=105人(+14人) ▷会計年度任用職員(社保加入者) H28=81人→R2=85人(+4人)
	扶助費	2.2	4.5	2.3	・介護給付訓練等給付費 0.7→2.0(+1.3) ・児童手当 0.7→1.4(+0.7)	4.5	4.7	0.2	・介護給付訓練等給付費 2.0→2.4(+0.4)
	公債費	8.0	4.9	-3.1	H19の主な元利償還金(H28以前に償還終了したもの) ・S58～S59 高瀬中学校改築事業 0.4 ・S63 義務教育施設整備事業 0.2 ・H1 池田・会染小学校改築事業 0.4 ・H3～H11 公園緑地事業 0.5 ・H11 共生のまち推進事業(福祉施設整備事業) 0.4 ・H12 地域総合整備事業債 0.8	4.9	5.9	1.0	R2の主な元利償還金(H28以降に償還開始したもの) ・H26～29 緊急防災・減災事業債 1.1(防災行政無線デジタル化, 消防団詰所改修, 消防車両整備, 会染保育園耐震, 総合体育館耐震補強)
	計	17.8	15.7	-2.1		15.7	20.3	4.6	
そ の 他	物件費	6.7	8.8	2.1	・総務費 1.8→2.2(+0.4) ・民生費 2.2→2.7(+0.5) ・農林水産業費 0.1→0.6(+0.5) ・教育費 1.4→1.8(+0.4)	8.8	6.7	-2.1	・臨時職員(物件費) 2.0→2.3(△2.3) ※R2制度改正により会計年度任用職員として人件費に計上 ※赤字部分は委員会当日口頭にて訂正した箇所です。
	補助費等	5.0	7.0	2.0	・北アルプス広域連合常備消防費負担金 1.2→1.5(+0.3) ・池田松川施設組合負担金(給食センター分) 0.5→0.7(+0.2) ・地域介護福祉空間整備事業 0.0→1.3(+1.3) ・多面的機能支払交付金 0.0→0.6(+0.6) ・臨時福祉給付金(繰越明許費含む) 0.0→0.4(+0.4) ※赤字、見え消し部分は委員会後日に訂正した箇所です。	7.0	19.7	12.7	・池田松川施設組合負担金(給食センター分) 0.7→0.8(+0.1) ・移住定住補助金 0.0→0.6(+0.6) 【新型コロナウイルス感染症対策関連(主なもの)】 ・特別定額給付金給付事業交付金 0.0→9.8(+9.8) ・商品券発行事業補助金 0.0→2.0(+2.0) ・中小企業経済対策支援事業補助金等 0.0→0.7(+0.7)
	繰出金	4.6	5.9	1.3	・下水道事業特別会計繰出金 1.3→1.9(+0.6) ・介護保険広域連合負担金 1.0→1.6(+0.6) ・老人保健特別会計繰出金・後期高齢者医療療養給付費負担金 1.0→1.2(+0.2) ・国民健康保険特別会計繰出金 0.5→0.6(+0.1)	5.9	6.7	0.8	・下水道事業特会繰出金(R2は下水道事業会計負担金) 1.9→2.5(+0.6) ・介護保険広域連合負担金 1.6→1.7(+0.1) ・後期高齢者医療療養給付費負担金 1.2→1.3(+0.1) ・国民健康保険特別会計繰出金 0.6→0.7(+0.1)
	積立金	0.4	0.3	-0.1	・てるてる坊主のふるさと応援基金 0.0→0.3(+0.3) ・財政調整基金 0.3→0.0(△0.3) ・土地開発基金 0.1→0.0(△0.1)	0.3	1.2	0.9	・てるてる坊主のふるさと応援基金 0.3→0.7(+0.4) ・公共施設等整備基金 0.0→0.4(+0.4)
	その他	0.3	0.7	0.4		0.7	0.7	0.0	
	計	17.0	22.7	5.7		22.7	35.0	12.3	
○投資的経費		5.0	9.6	4.6		9.6	9.6	0.0	
歳出合計		39.8	48.0	8.2		48.0	64.9	16.9	

数値は四捨五入しているため、合計値が一致しない箇所があります
※1 R2は暫定数値

委員会開催スケジュール（6/24現在）

回	日にち	令和3-4年度 内容	回	日にち	平成16-17年度 内容
1	5月28日（金）	委嘱、会長選出、審議の進め方			
2	6月24日（木）	町財政について			
3	7月29日（木）	1. 組織・機構の改善に関すること。			
4	8月25日（水）	〃			
5	9月30日（木）	〃			
6	10月28日（木）	2. 公共施設の管理運営の改善に関すること。			
7	11月25日（木）	〃	1	11/11	委嘱、会長選出、審議の進め方
8	12月23日（木）	〃	2	12/6	組織の見直しについて各課からの説明
9	1月27日（木）	3. 事務・事業の改善に関すること。	3	1/19	組織・機構の見直しについて
10	2月24日（木）	〃	4	1/27	組織・機構の見直しについて
11	3月24日（木）	〃	5	2/1	組織・機構の見直しについて
			6	2/8	組織・機構の見直しについて
			7	2/14	組織・機構の見直しについての答申
			8	3/23	会館等公共施設の設置及び管理運営について（視察）
12	4月28日（木）	4. 財政運営の改善に関すること。	9	4/20	会館等公共施設の設置及び管理運営について
13	5月26日（木）	〃	10	5/11	会館等公共施設の設置及び管理運営についての答申（ハープC）
14	6月30日（木）	〃	11	6/22	会館等公共施設の設置及び管理運営について
	7月28日（木）	5. 行財政改革の計画策定に関すること。	12	7/8	イベント及び補助金について
15	8月25日（木）	（行財政改革 プラン作成期間）	13	7/21	イベント及び補助金について、行政運営と情報化について
16	9月29日（木）	〃	14	8/24	広域行政について
17	10月27日（木）	〃	15	9/29	危機管理について
18	11月24日（木）	答申準備	16	10/14	答申内容について
19	12月22日（木）	〃	17	10/18	答申内容について
20	1月26日（木）	答申※	18	10/25	答申
21	2月22日（水）	（予備）			
22	3月23日（木）	〃			

※予算編成のタイミングや検討状況等により一部答申を行うこともあります。また、検討結果は随時、町長へ報告します。

2021年度 年間カレンダー

午前開催
9:00～12:00午後開催
1:30～4:30

2021 **4** April

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2021 **5** May

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2021 **6** June

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2021 **7** July

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2021 **8** August

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2021 **9** September

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2021 **10** October

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2021 **11** November

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2021 **12** December

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2022 **1** January

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2022 **2** February

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

2022 **3** March

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2022年度 年間カレンダー

午前開催
9:00～12:00午後開催
1:30～4:30

2022 **4** April

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2022 **5** May

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2022 **6** June

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2022 **7** July

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2022 **8** August

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2022 **9** September

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2022 **10** October

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2022 **11** November

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2022 **12** December

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2023 **1** January

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2023 **2** February

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

2023 **3** March

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	